

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前9時から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

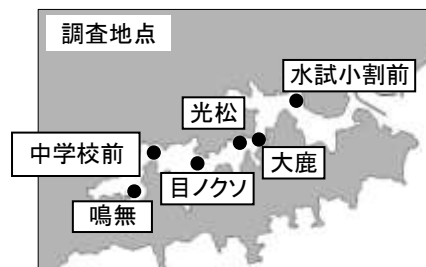
検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で18cells/ml、カレニア・ミキモイが最高で14cells/ml、デイクチオカ・フィビュラが最高で70cells/ml確認されました。

シャットネラ属は目ノクソと光松で漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモイ	デイクチオカ・フィビュラ	ジャイロディニウム属	珪藻類
中学校前 透明度: 6.0m	0m	0	1	0	1	2,900
	2m	0	6	0	1	1,250
	5m	2	7	20	6	900
目ノクソ 透明度: 5.8m	0m	0	1	0	4	1,800
	2m	0	0	0	3	2,550
	5m	14	0	70	1	1,900
光松 透明度: 4.6m	0m	0	0	0	3	2,450
	2m	2	1	0	1	3,200
	5m	18	0	36	3	4,950
大鹿 透明度: 4.0m	0m	0	0	0	3	2,050
	2m	0	0	0	3	2,550
	5m	2	0	58	5	4,500
水試小割前 透明度: 3.8m	0m	0	0	0	5	700
	2m	1	0	0	4	800
	5m	1	0	3	0	800
鳴無 透明度: 5.0m	0m	0	0	0	0	0
	2m	0	3	0	3	3
	5m	9	14	3	3	3



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・デイクチオカ・フィビュラ:
赤潮発生時(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>